

デザイナーは子どもたち

# 3Dプリンタ を使って ピンクシャツバッジ 制作しました!!



ピンク色のシャツやピンク色のものを身に付けて「いじめ反対」の意思を示すピンクシャツデー運動。今回、子どもたちがデザインツールを活用してピンクシャツのデザインを考えたことをきっかけに、3Dプリンタを使ってバッジを制作しました。

バッジは、さがみはらピンクシャツウィークに教育委員会の職員が着用します。

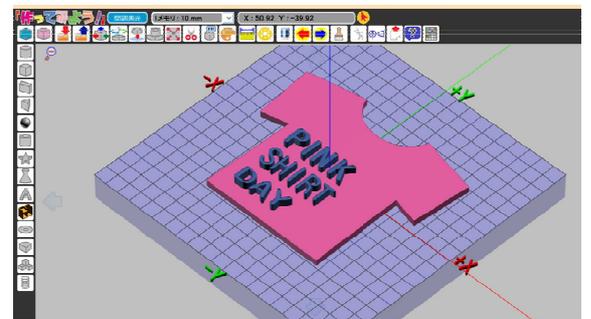
## ①子どもがCanvaでデザイン



相模原市教育センターにおいて、相談指導教室「いずみ」の子どもたちが、情報活用能力育成の授業の一環として、デザインツールCanvaを活用し、シャツデザインを考えました。今回、子どもが考えたデザインの一部を採用しました。

## ②3Dプリンタで制作

子どものデザインを技術科等の授業で活用されているCADソフト「作ってみよう!」で職員が3Dデータ化し、3Dプリンタで制作しました。なお、3Dプリンタの保守管理事業者であるビープロジャパンさんに素材の提案等を協力いただきました。



## ③教育委員会 約230人がバッジ着用!!

バッジサイズ  
縦4.7cm×横 5.5cm



さがみはらピンクシャツウィーク【2月25日（火）～28日（金）】に教育委員会 約230名の職員がピンクシャツバッジを着用し、いじめSTOPの意思を示します。



## ④本市の取り組み

相模原市では、令和4年に3Dプリンタ（Sermoon V1 PRO）を整備しました。依頼のあった中学校等に貸し出し、授業活用が進んでいます。最近では、小学校等でも「使ってみてみたい!」との要望が増えています。これからも「学び×最新のテクノロジーの活用」の推進に取り組んでいきます。



導入機種  
Sermoon V1 PRO

問い合わせ先  
相模原市教育委員会  
教育センター  
学習情報班  
電話042-754-2577  
担当者 木原 島田